

**(第2期)**

**いいね! いぬやま総合戦略案**

**【一部抜粋】**

**令和2年3月**

**犬山市**

# 策 定 中

(第3回審議会までに案を作成予定)

戦略の推進については、下記の視点を念頭に入れて実施します。

### 国・県の戦略の勘案

#### 国の基本方針

##### (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつなげる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

##### (2) 新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

##### (3) 人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

##### (4) 民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

##### (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

##### (6) 地域経営の視点で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

「訪れたいまち」の中  
に含まれる。

『協働』ではなく『活  
用』を用いる。  
協働＜活用

# 策 定 中

(第3回審議会までに案を作成予定)

戦略の推進については、下記の視点を念頭に入れて実施します。

PR

マッチング（連携）

とりこぼさない→取り残さない

シェアリングエコノミー

民間活用等

財源確保（ふるさと納税、ガバメントクラウドファンディング等）

圏域マネージメント・共同調達

誰もがいきいきとしているまち

### 3 戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業

## 戦略の方向性 豊かさを

人口減少と経済縮小克服のために平成 27 年度から平成 31 年度の 5 年間で  
最優先に取り組む目標と重点事業

### ◎基本目標

#### 基本目標 気持ちいい住環境

子ども

## “暮らしたいまち”がある

ねらい 住んでほしい 住み続けてほしい

- ◆ 幹線道路沿いの商業施設誘致にチャレンジ。買い物の不便さを解消し生活都市としての魅力を高める。
- ◆ 「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山ならではの新たな暮らし方の価値観を提案し「住むまち」としての魅力を市内外に効果的に情報発信することで、都市ブランド力を高め「住みたいまち」を実現する。
- ◆ 定住を促すため、空き家や低・未利用地の活用、民間活力を活かした住宅の整備など、魅力ある住環境づくりに挑戦する。
- ◆ 幹線道路や鉄道駅を核として買い物や交通の利便性の良さを活かした「まちの魅力」を向上する。
- ◆ 若者世代・子育て世代の市内定住に向け、UIターン、就業の支援に加え、子育てと仕事の両立のため、多様な子育て支援を展開。小児医療や教育環境の充実など加えて、若者が安心して結婚し、子を産み、育てることができる社会の実現に挑戦する。

#### ★チャレンジする重点事業★

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| ① 子ども医療費全額助成の拡充  | ⑥ 地域の集いの場開設支援             |
| ② わかりやすい子育て情報の発信 | ⑦ ふるさと定住促進サポート事業(UIターン支援) |
| ③ 育ちを支える“わ”づくり   | ⑧ 空き家の利活用！                |
| ④ 新たな商業施設の誘致     | ⑨ 里山・田園集落活性化              |
| ⑤ 住環境(インフラなど)の整備 | ⑩ 奨学金補助で犬山就労・定住促進！        |

学校

若者

子育て  
世代

働く世代

Etc.

本戦略では、市民アンケートや訪問型アプローチなどでいただいた意見・提案をもとに「犬山市の特徴と課題」を整理し、課題解決のために具体的な目標を設定するとともに、この5年間で最優先して取り組むべき重点事業を定めました。

## 実感できるまち

NPO

基本目標 居場所と出番

高齢者

# “活躍したいまち”がある

ねらい しごとがある 誰もが活躍できる

企業

- ◆新たな起業や地域ブランドが生まれる環境と仕組みづくりにチャレンジする。
- ◆基幹産業である「工業」充実のため、新たな工業団地の整備等を進め、雇用の場を確保する。
- ◆「祭り・伝統文化」などを通じた地域内の融和・地域力の向上にチャレンジする。
- ◆すべての子どもが自信と希望(目標)を持つことができるよう、あらゆる世代の人や地域と関わりを持ちながら自ら学び、成長できる環境を整える。
- ◆女性や若者、高齢者を始め多様な主体が活躍できる居場所・出番づくりを応援する。
- ◆地域に応じた多様な地域活動を応援する。また、地域の課題を自らが解決しようとする取り組みを応援する。
- ◆地元大学や教育機関が活躍する場と機会を確保し、学校と学生の力を地域課題の解決に活かす。

### ★チャレンジする重点事業★

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ① がんばる企業と新たな起業を応援    | ⑤ みんなで地域力UP! にチャレンジ |
| ② 新たな地域ブランド開発を応援!    | ⑥ 自治基本条例制定          |
| ③ 金融機関・犬山商工会議所との連携強化 | ⑦ 犬山の特色ある教育を推進      |
| ④ シルバーと若者が農業に挑戦!     | ⑧ 子育て・自分育ちプロジェクト    |
|                      | ⑨ 市民活動のさらなる支援       |

# 検 討 中

外国人

基本目標 人の交流

学生

# “訪れたいまち”がある

ねらい 住む人の誇りを高め 訪れたい人が増える

- ◆すべての取り組みを市内外に広めるためのシティプロモーションを展開。効果的な情報発信・地域の絆強化・郷土愛の醸成を図る。
- ◆「豊かな自然」「城」「伝統文化」「人の優しさ」など、犬山が誇る地域資源を活かして「犬山ファン」や「心から地元を誇りに思う気持ち」を育む。住む人が地域への誇りを高め、市外の人にも魅力的な「訪れたいまち」を目指す。
- ◆「観光」を戦略的・専門的観光を基軸に地域資源を活かしながら多様な分野と連携。観光を産業として裾野を拡げ、産業全体の強化に貢献する。とする視点は「新しい観光の魅力発信」であり、特に「体験」「人の交流」「滞在」をテーマに展開する。

### ★チャレンジする重点事業★

- ① 戦略ある“観光まちづくり”の推進
- ② ふるさと納税制度の活用とクラウドファンディングの導入
- ③ シティプロモーションの積極的展開

# 検 討 中

女性

写真

# “暮らしたいまち”がある

## 5年間のすすめかた

- 幹線道路沿いの商業施設誘致にチャレンジ。買い物の不便さを解消し、生活都市としての魅力を高めます。
- 「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山ならではの新たな暮らし方の価値観を提案。「住むまち」としての魅力を市内外に効果的に発信することで、都市ブランド力を高め、「住みたいまち」を実現します。
- 定住を促すため、空き家や低・未利用地の活用、民間活力を活かした住宅の整備など、魅力ある住環境づくりに挑戦します。
- 幹線道路や鉄道駅を核として、買い物や交通の利便性の良さを活かした「まちの魅力」を向上します。
- 若者世代、子育て世代の市内定住に向け、U I J ターン、就業の支援に加え、子育てと仕事の両立のため、多様な子育て支援を展開。小児医療や教育環境の充実なども加えて、若者が安心して結婚し、子を産み、育てることができる社会の実現に挑戦します。



## 犬山市での子育てと女性の活躍を応援します

(「応援チーム」連携した子育てと女性の活躍応援事業ほか)

子育てを応援するためには、子育てに関する不安を解消したり、子育てそのものへのサポートはもちろん大切です。犬山市では、これまでも、そしてこれからも子育てを応援し続けます。

また、「子育てが落ち着いたら自分は何をしようか」といった不安を取り除くことも必要だと考えます。ママたちが集まって、子育てや自分の将来について話をしたり、活躍している先輩ママの話を聞いたり、プチ起業を体験したりする場を作って、ママたちの不安を解消します。

第1期では、「子育てと女性の活躍応援チーム」が立ち上がりました。現在、老若男女を問わず、市内在住・在学・在勤または市内で活躍していて、子育てと女性活躍応援事業に関心のある人が、自立・自走に向けて活動を開始しています。

第2期では、「子育てと女性の活躍応援チーム」とともに、犬山市での子育てと女性の活躍を応援する事業を実施します。事業を知ってもらい、参加してもらうため、市内で行われる子育て情報を、分かりやすく発信します。

「子育てと女性の活躍応援チーム」に加わることもできますし、応援を受けて自分なりの活躍の場を見つけることもできます。

各種団体や企業などと協働して、犬山市全体で子育てと子育てをする人の活躍を応援するまち＝子育てをしたいまちをつくりま

す。

写真

SDGs

SDGs

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 「応援チーム」と連携した子育てと女性の活躍応援事業
- 子育てと女性の活躍応援事業の情報発信
- 病後児保育事業の実施
- 多子世帯支援策の強化
- 産後ケア事業の開始

## あらたな商業施設を積極的に呼び込みます

(道の駅整備検討 (ほか))

市内の幹線道路のうち「商業集積ライン」として設定された道路沿いへ商業系の施設を積極的に呼び込みます。

橋爪・五郎丸地区に、民間のチカラを活用することを考慮しながら、道の駅の整備を進めます。

生活に不可欠な買い物に困らないように、市民の暮らしを守ります。

買い物の不便さを改善し、「住むまち」としての魅力を高めます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 橋爪・五郎丸地区での道の駅整備
- 幹線道路への商業施設誘致

SDG s

SDG s

## 住環境（インフラなど）を整えます

(都市計画道路整備・地区計画道路整備・道路維持修繕改修)

犬山がもっと暮らしやすいまちになるよう、公園や公共交通網、道路などのインフラをしっかりと整備することはとても大切です。

市街化区域内の低・未利用地が活用しやすくなるように効果の高まる道路整備を進め、民間のチカラを活かした宅地化を促進します。

渋滞の改善が期待される重要な幹線道路の整備を進めます。

移動手段を持たない人が困らないための、地域住民の足の確保について検討します。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 重要な幹線道路の整備(富岡荒井線、犬山富士線など)
- 地区計画道路の整備
- 安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯を設置・修繕
- 移動手段を確保するための移動支援の検討
- 市街化区域内の低・未利用地の整備

SDG s

SDG s



## 地域の集いの場づくりを応援します

(地域の集いの場開設支援事業)

地域での仲間づくりや、生きがいの支援、介護予防につながる活動など、高齢の方が住みなれた地元で、いつまでも安心して暮らすことができるような仕組みづくり(地域包括ケアシステム)を進めています。

そのための取り組みの一つとして、地域の「集いの場」を自ら開設しようとする熱意ある団体を支援します。

高齢者だけでなく、あらゆる世代の誰もが自由に集まることができる「集いの場」づくりを応援します。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

#### ●地域の集いの場開設支援事業

地域の集会場などを利用し、地域の高齢者を始めあらゆる世代が主体となって介護予防事業などを行う場合の「集いの場」開設に必要な支援を行います。

SDG s

SDG s

## 帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で

(ふるさと・働きて定住促進サポート事業)

市内の親と同居、もしくは親の近くに住みUターン定住する子ども世帯に対して、住宅のリフォーム・購入・新築などにかかる費用の一部を補助します。

市外在住で市内に勤務する人が市内に定住するIターンに対して、住宅の購入や新築にかかる費用の一部を補助します。

犬山に魅力を感じてUIターンするみなさんを応援します！

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

#### ●ふるさと定住促進サポート事業

同居支援タイプ(リフォーム、取得、新築)の場合：費用の1/2、または上限60万円を補助

近居支援タイプ(取得、新築)の場合：上限20万円を補助

#### ●働きて定住促進サポート事業

上限20万円を補助

SDG s

SDG s

## 空き家の活用をすすめます

(空き家活用事業)

空き家のデータベースを整備しながら、空き家をまちの資源として利活用が進むように取り組みます。

定住促進や地域の活性化を目指し、積極的に利活用できるように、犬山市の魅力紹介などと併せて、犬山市ならではの空き家の情報提供(空き家バンク)を進めます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 空き家情報提供（空き家バンク）による情報発信
- 借主改修型（DIY）空き家事業の開始
- 空き家に関する相談窓口の拡充・連携

SDG s

SDG s

## 「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します

(優良田園住宅制度の活用ほか)

栗栖や今井などの里山・田園集落の活性化を図るため、地域資源を活かした定住促進を進めます。空き家活用や地域活動に関わる人たちへの住宅サポートなどに取り組みます。

また、木曽川を中心に水辺を活かした地域の活性化につながる取り組みを進めます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 優良田園住宅制度の活用
- 水辺を活かしたまちづくりプロジェクト

SDG s

SDG s

## 環境先進都市いぬやまを目指します

(環境基本計画の改訂)

地球環境、自然環境、生活環境などの環境問題に取り組みます。  
環境基本計画を改訂し、行政だけではなく、市民や企業、各種団体と協働して推進します。  
みなさんが取り組む省エネを支援します。  
みなさんに自然の大切さを伝えます。  
ごみ収集の諸問題を解決します。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 環境基本計画の改訂と推進
- 広域ごみ処理施設の整備

SDG s

SDG s

## 市民サービスをもっと簡単に分かりやすく

(キャッシュレスの推進、コンビニ交付)

利用者である市民が、もっと簡単に市役所のサービスを受けられるように、手続きの方法がもっと分かりやすくなるように、行政ではなく市民の目線で考えて、市民サービスを見直します。

他自治体で導入が進むキャッシュレス化や住民票などのコンビニ交付、ICT 技術を活用した市民サービスの向上に取り組みます。

「犬山市役所は便利だね」、「犬山市に住んでいて良かったね」と思われる市役所を目指します。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- キャッシュレスの推進
- 住民票等のコンビニ交付サービスの開始

SDG s

SDG s

## 誰もがいきいきと暮らせるまちをつくります

(多文化共生の推進など)

女性、高齢者、障害者、外国人など「誰もが居場所と役割を持ち、がいきいきと暮らすことができるまち」の実現を目指します。

「多様な人がいきいきと暮らしていること」が犬山市に暮らしている人はもちろん、訪れる人にとっても魅力となるようなまちづくりを進めます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 子育ての女性の活躍応援事業の実施
- 介護予防事業の推進
- 地域生活支援拠点整備事業
- 多文化共生の推進

SDGs

SDGs

## 子育て支援施設を計画的に整備します

(子ども未来園施設整備事業)

多くの子ども未来園は、建築後 50 年近く経過しており、施設の老朽化が進んでいます。この 50 年の間に、当時はあまり想定されていなかった3歳未満児の保育ニーズの高まり、自動車による送迎の増加といった変化に施設が対応できていません。

園児達が快適に保育サービスを受けられるように、令和元年度に策定した「子ども未来園施設整備計画」に基づき、計画的に子ども未来園の整備を進めます。

子ども未来園以外の施設も、計画的な管理を進めます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 子ども未来園施設整備

SDGs

SDGs

## 安全・安心に暮らせるまちをつくります

(通学路安全（グリーンベルトなど）対策整備など)

誰でも安全なまちで安心して暮らしたいと考えているはずです。

市民意識調査から犬山市は「災害に強い」、「災害が少ない」という意見が多くありました。もっと災害に強いまちとなるように、防災・減災に取り組み強靱なまちを作ります。

防犯や交通安全対策を支援します。

何かあったときの消防、救急、救助、医療などの安全体制を強化します。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 通学路安全（グリーンベルトなど）対策整備
- 家庭や地域での防犯・防災対策支援
- 災害対策、非常時の体制整備

SDG s

SDG s

写真

# “活躍したいまち”がある

## 特徴と課題

- 市内で買い物をする割合が少ない
- 雇用の受け皿・市の産業を支える中心として工業の影響が大きい
- 女性・高齢者・障害者・外国人など誰もが活躍できる支援や仕組みが必要
- 耕作者の高齢化や農地保全への対応が必要

ねらい しごとがある！誰もが活躍できる！

## 5年間のすすめかた

- 新たな起業や、事業承継、地域ブランドが生まれる環境と仕組みづくりにチャレンジします。
- 基幹産業である「工業」充実のため、企業誘致を推進し、「しごとの場」をつくります。
- 「祭り・伝統文化」などを通じた地域内の融和・地域力の向上にチャレンジします。
- すべての子どもが自信と希望(目標)を持つことができるよう、あらゆる世代の人や地域と関わりを持ちながら自ら学び、成長できる環境を整えます。
- 女性・高齢者・障害者・外国人など多様な主体が活躍できる居場所と出番をつくります。
- 地域に応じた多様な活動を応援します。地域の課題を自らが解決しようとする取り組みを応援します。
- 地元大学などの教育機関が活躍する場と機会の確保を重視します。学校と学生の力を地域課題の解決に活かします。





## がんばる企業と新たな起業を応援します

(後継者バンク創設・企業のマーケティング戦略の支援強化ほか)

第1期に引き続き、市内でがんばる企業や新たな起業を応援します。  
第2期では、がんばって営業してきたお店や工場を残したかったけれど、後継者がいなくて廃業するしかない人と、そのお店や工場を引き継ぎたい人とのマッチング(=事業承継)の支援に取り組みます。  
また、がんばる小規模事業者の販路開拓などを支援し、市内事業者の持続的発展を支援します。  
犬山市で起業したい人が抱える悩みを、ワンストップで解決します。  
起業を始め、その人の生き方に合った多様な働き方を応援します。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 後継者バンク創設
- 企業のマーケティング戦略の支援強化

SDG s

SDG s

## 新たな地域ブランド開発を応援します

(特産品等を通じた犬山PR事業・6次産業化支援事業ほか)

自慢できる名物がたくさんあることで、まちの魅力が一層高まります。犬山ドッグをはじめ、多くの名物や特産品が生まれ、磨かれるよう、様々な取り組みを支援します。  
特に、市内で作る農産物等を加工して新たな地域ブランドや商品を開発する事業を応援します。  
犬山の特産品を市外に向けて売り込むための営業活動を官民一体となってどんどん仕掛けます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 新たな特産品の開発支援
- 特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦
- 新たに開発・商品化した事業者に対する設備投資、販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)

SDG s

SDG s

## 犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・大学等と連携

(金融機関・商工会議所・大学等との連携強化)

総合戦略の推進においては、多様な主体との関わりが重要です。取り分け、金融機関や商工会議所、大学等と連携することは、経済の活性化、子育て支援、教育など幅広い分野での展開が期待できます。

犬山商工会議所及び 12 の金融機関と結んだ包括協定、各大学等との連携協定に基づき、有益な取り組みを検討し、実施していきます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 連携事業候補の洗い出し
- リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施

SDG s

SDG s

## みんなで地域力UP！にチャレンジ

(地域の課題解決支援事業)

犬山市では、そこに住む人たちの手によって、地域ごとの特性を活かしたまちづくりが進められています。

そうした活動の中で、より快適で魅力あふれる地域を目指し、地域住民自身が地域の課題を解決していく取り組みを、行政と住民、関係者が一緒になって進めます。同時に、地域を支える人材を掘り起し育成していきます。

また、取り組みの成果は事業を実施した他の地域とも共有し、市全体での地域づくりにつなげます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 地域の課題解決支援事業
- モデル地域の設定、地域で活動する団体等の調査、ワークショップを通じた課題などの抽出、地域の将来像、などを検討し実践するモデル事業に取り組みます

SDG s

SDG s



## 犬山らしい教育をすすめます

(読解力向上推進ほか)

犬山市では、2学期制や少人数学級などの特色ある教育を進めています。これからは、読解力向上をキーワードに幼保小中が連携して、「感性豊かなひとづくり」を推進し、どんな社会でも活躍できる人材の育成に取り組みます。

子どもたちの健やかな育ちを応援するため、学校設備を積極的に改善します。

犬山市の特色ある教育や、食育の一環としての学校給食を知ってもらう機会を作ります。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 読解力向上推進
- 図書館改造
- 学校施設の計画的な改修

SDG s

SDG s

## 市民が主役のまちづくりを進めます

(市民活動支援事業)

令和元年に、犬山市協働のまちづくり基本条例を策定しました。この条例では、地域課題の解決のために、市民、議会、行政の協働によるまちづくりを推進する理念条例です。

次のステージでは、この条例の普及・啓発に取り組み市民参加を推進します。

市民参加のあり方などを新たに定めるため、今ある市民活動支援条例を見直します。

令和2年度にオープン予定の協働プラザと連携して、地域課題の調査を行い、市民と一緒に課題の解決に取り組みます。

すべての市民はまちの担い手であり、まちの魅力は人によって生まれ、磨かれます。市民一人ひとりの「このまちが好き!」「ほっとけない!」の想いを、自立した市民活動として展開できるよう、支援を続けます。

写真

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 協働プラザの整備・運営
- 市民活動支援施策の推進
- 市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化
- 協働のまちづくり基本条例の推進
- 市民活動支援条例の改正
- ”活躍の場”づくり（フューチャーセッション）
- 地域資源バンクの活用

SDG s

SDG s

## シェアリングエコノミーでスキルを活用

(シェアエコの普及)

シェアリングエコノミー(=シェアエコ)とは、個人の「資産」(モノ、建物など)や「能力」(スキル、知識など)を、インターネット上の仲介事業者を介して、必要とする人に貸し出すことで有効に活用する仕組みです。

さまざまなサービスがありますが、シェアエコを利用すれば、個人の「資産」を活かして活躍することもできます。

地域課題の解決と、地域経済の活性化のため、シェアエコの普及に取り組みます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- シェアエコの普及活動
- シェアエコを活用した地域課題の解決

SDG s

SDG s

## 「しごとの場」を増やします

(産業集積誘導エリアへの企業誘致)

犬山市の工業は、昭和30年代後半から急速な発展をとげてきました。現在、犬山市で働いている人は、男性・女性ともに製造業で働いている人が最も多くなっています。

第1期には、第5次総合計画を改訂し、工業系の企業誘致や市内企業の事業拡張などを促す産業集積誘導エリアを見直し、企業誘致を進めてきました。

第2期においても、皆さんの「しごとの場」を提供する企業誘致、市内企業の事業拡張の支援に取り組みます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 産業集積誘導エリアへの企業誘致
- 企業再投資促進

SDG s

SDG s

## 農業でがんばる人を応援します

(農業の担い手育成、耕作放棄地対策ほか)

農家の高齢化が進んでいます。農作業がだんだんとできなくなって、耕作する面積を減らしたり、後継者がいないなどの理由で、耕作放棄地が増えています。高齢農家の農作業支援や、新たな農業の担い手の育成が必要です。農地を貸したい人と借りたい人、農業に詳しい人と農業をはじめてみたい人のマッチングも求められています。

近年では、イノシシによる農作物被害が目立つようになってきました。がんばって育てた農作物が、安心して収穫できるよう農家の皆さんを応援します。

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 耕作放棄地対策
- 農業の担い手育成
- イノシシ対策

写真

SDG s

SDG s

## 文化・スポーツで活躍・交流できるまちへ

(市民文化会館修繕)

市民の文化、スポーツを通じた活躍・交流を促進します。

市内のサークル団体の情報を集約して提供したり、市が実施する生涯学習事業や、市内中学校の部活動の指導者に地域の人材を派遣します。

老朽化している市民文化会館、市の体育施設を計画的に修繕し、文化・スポーツに触れる場、文化スポーツで活躍する場を確保します。

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 市民文化会館の修繕
- 社会教育施設の修繕

写真

SDG s

SDG s



### 特徴と課題

- 犬山の魅力や情報を市内外に向けて効果的に発信できていない
- 観光客数は増加傾向だが、戦略に基づいた取り組みが必要
- 市民が誇りに思うものは「豊かな自然」や「伝統文化」「地域の祭り」「城」など

## ねらい 住む人の誇りを高め 訪れたい人が増える

### 5年間のすすめかた

- すべての取り組みを市内外に広めるシティプロモーションを展開。効果的な情報発信・地域の絆強化・郷土愛の醸成を図ります。特に「見せ方」「伝え方」にこだわります。
- 「豊かな自然」「城」「伝統文化」「人の優しさ」など、犬山が誇る地域資源を活かして「犬山ファン」や「心から地元を誇りに思う気持ち」を育みます。住んでいる人が地域を愛し心豊かに楽しく暮らしていることで、市外の人にも犬山が魅力的に映り、訪れたいまちを目指します。訪れた人がますます「犬山ファン」となって、「犬山に住みたい」につなげます。
- 「観光」を戦略的に展開。観光を基軸に地域資源を活かしながら多様な分野と連携。観光を産業として裾野を拡げ強化します。重点とするのは「観光の新たな魅力発掘」であり、特に「体験」「人の交流」「滞在」をテーマに展開。多くの人に関わり活躍できるよう、市域全体でまちの魅力をつくります。



## 戦略ある“観光まちづくり”をすすめます

(観光戦略会議の開催・観光×〇〇事業)

これまで観光とは縁遠かった、ひと・組織・産業など、さまざまな分野の地域資源とのかけ合わせ(観光×〇〇)により、新しい観光産業を創り出します。

観光に関わる産業の裾野を拓げることで経済効果を市全体に拓げることにも挑戦します。特に「人の交流や体験」など、新たな魅力の発掘にチャレンジします。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

#### ●観光戦略の策定と推進

観光戦略を策定し、戦略に基づいた観光まちづくりを推進します。

#### ●観光×〇〇事業

観光と異分野のかけ合わせ事業に挑戦

SDGs

SDGs



すべての取り組みを市内外に発信！愛されるまち犬山へ！

### 3 シティプロモーションを積極展開します

(シティプロモーション強化事業ほか)

犬山市の魅力、暮らし、行政サービスの内容などを、わかるように伝えることはとても大切です。市内に住む人には犬山の良さを再認識してもらうことができます。

市外の人には興味を持ってもらい、まずは「行ってみたい」まちへ、そこから「住んでみたい」まちになることを目指します。

また、犬山市内で開催される文化やスポーツ、健康に関するイベントを、市外に向けてさまざまなツール(手段)を利用して、積極的に発信し、趣味や活動を通じた犬山ファンを増やします。

シティプロモーションを通じて、ふるさと犬山への愛着を高めることを目指します。そこから、地域を大切にする新たな活動も生まれるものと考えます。

住んでいる人が心豊かに暮らしているから、訪れた人も楽しくなる…。シティプロモーションを展開し、誰もが「豊かさを実感できるまち」を目指します。

写真

#### シティプロモーションとは？

定義は明確でなく捉え方も多様ですが、ここでは地域の魅力を掘り起こし、その魅力を内外に発信することで地域の活性化を図る取り組みを指します。

特に、そうした活動を通じた住民の地域への愛着度の向上が重要と考えます。

#### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信
- シティプロモーション強化事業

## 木曽川河川空間を活性化します

(木曽川河畔の整備、イベントの実施ほか)

木曽川は、風致景観の優秀さと学術的価値の高さから、国の名勝に指定されています。このような木曽川の魅力を活かした河川空間の活性化に取り組みます。

内田地区では、犬山城や城下町に近いことから、観光客を誘導するために必要な整備やイベントを実施します。

栗栖地区では豊かなみどりと河川空間という自然の魅力を活かした移住・定住支援に取り組みます。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 木曽川河畔の整備（栗栖地区）
- 地域の魅力発信（栗栖地区）
- 飲食・物販イベントを通じたにぎわい創出（内田地区）

SDG s

SDG s

## 文化財を保存し、魅力を創出・発信します

(歴史資料等の収集・編纂)

犬山市内には、国宝犬山城やユネスコ無形文化遺産になった「犬山祭の車山行事」をはじめ、国指定(登録)・県指定・市指定を合わせて 224 件の文化財があります。

こうした文化財を適切に保存し、後世へと引き継ぎます。

市内各地に存在する文化財の魅力 UP に取り組みます。

文化財の魅力をPRして、犬山市へ「訪れたい」と思う人を増やします。

写真

### 新たにチャレンジする主な取り組み

- 歴史資料等の収集・編纂
- 文化財保存活用地域計画の策定

SDG s

SDG s